

大会運営要項

1. 試合は5回戦とし、1試合の時間制限70分以内とする。
ただし、10分前には新しいイニングに入らない。
同点の場合は、抽選において勝敗を決する。（決勝のみ時間内延長を認める）
 2. ベンチは、番号の若いほうが1塁側とする。シートノックの時間はありません。
 3. 審判・記録は出場チームの登録者が行ない、主催者が割り当てをします。チームが責任をもってください。ただし、主審（球審）は主催者が担当します。
割り当て審判員の都合が悪い場合は、出場チームが責任をもって行なう。
なお、割り当て審判員を派遣できない場合は、今大会、及び次年度の参加資格を失う。
 4. 責任者及び監督は、試合開始予定1時間前には、該当の会場に選手を集合させる。
（試合予定時間より20分まで早めることは、主催者側の判断でできる）
代表者は、必ず本部にて受付（参加費）をする
 5. 選手の服装は、原則として統一のユニフォームを着用してください。
打者・走者・次打者・ベースコーチは必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
（捕手は、必ずヘルメット・レガーズ・プロテクター等防具を使用してください。）
 6. 規則は全日本軟式野球連盟（学童の部）規則に準ずるが、グラウンド内を4か所使用するため、外野ラインを設けません。グラウンド内は、全てフリーとします。
各グラウンド共に、エンタイトルルツーベースを採用します。（ボールがフェンスの外に出たとき、および、試合当該チームのベンチに入ったときも含む。）
 7. 選手のベンチ入りは、原則20名以内とし、保護者は監督を含め5名以内とする。
 8. 抗議及び指示は、監督と当該選手がおこなう。保護者の抗議は一切認めません。
ただし、ルール上の抗議は監督に直接説明します。
 9. 南城公園球場駐車場は、球場入口の上の段にある専用駐車場を利用してください。
グラウンド横の通路には、絶対に駐車しないでください。（厳守のこと）
(救急車・来賓・役員専用です。)
マナーを守らないチームには、来年の出場権を与えない場合があります。
 10. 前年度優勝・準優勝チームは、優勝旗・準優勝旗、3位チームは、楯の返還をお願いいたします。
 11. 組み合わせ及び雨天連絡先は、後日各チームに連絡します。
- ※ 試合中の選手等のケガに対しては、主催者は応急処置のみとし、傷害保険の範囲以外の責は負いませんので、安全には細心の注意をしてください。

チームの登録審判員 各位

(監督)

平成28年9月8日

第38回 佐久地区少年軟式野球大会について

このことについて、下記事項留意のうえ、競技運営のご協力をよろしくお願ひ申し上げます。(登録審判員の方は必読願ひます。)

記

1. 割り当てされた担当審判員は、試合開始20分前には、直接会場に集合し、主審(主催者)と5人でミーティングをすませ、塁審・記録(試合ボールの管理)の担当を決定。その後、両チームオーダー表(3部)の交換を行ってください。
2. 競技規則は、大会運営要項と全日本軟式野球連盟(学童の部)規則に準ずるが、グラウンド内は、全てフリーとします。また、各グラウンドともに、エンタイトルツーベースを採用します。(ボールがフェンスの外に出たとき、及び自分達のグラウンドのベンチに入ったときも含む。)
3. 投手の変化球は禁じられていますので、ボールと判定します。(日頃の練習の時から、指導をお願いします。) また、一投手1日2試合を限度とする。
4. ボークは同一投手について1回注意し、以後はボークを取ってください。(ボークによつての牽制アウトは無効) 準決勝以上は、即ボークとします。
5. 試合は5回戦とし、得点によるコールドゲーム、延長戦はありません。(決勝戦のみ時間内延長あり) ただし試合時間は60分過ぎた場合には、新イニングに入らない。雨天・日没等の場合は、3回(後攻が勝っているときは、2回半)終了で有効試合とします。(通常回数が未消化でも、試合時間を優先とします。) 同点の場合は、抽選で勝敗を決します。
6. 打者・走者・次打者・ベースコーチは、両耳付きヘルメットを着用すること。捕手は、ヘルメット・レガーズ・プロテクター等の防具を着用すること。
7. 抗議は当該選手・監督のみとし、保護者等の抗議は一切認めない。ただし ルール上の抗議については、監督に直接説明してください。
8. 選手は原則20名登録ですが、チーム事情によりベンチ入りは若干名多くても認めます。保護者は監督を含め、5名までベンチ入りを認めます。
9. 大会中、選手等のケガに対して、主催者は応急処置のみとし、主催者側の加入の傷害保険範囲内以外の責は負いませので、指導者、チーム代表者は充分安全に心がけ、また暑さ、寒さなどの対策、対応もお願いします。